

## 読者ひろば

軍都の風景を  
後世に残そう

高谷和生 59

市民団体事務局長

(玉名市)

多くの仲間と戦争遺跡を通して命の尊さや平和の大切さを伝える市民活動を主宰している。

昨日、熊本市の大江渡

鹿地区の旧陸軍施設を巡る見学会を開いた。炎天下のなか引き揚げ経験をもち80代の女性から高校生まで、地元住民や建築士、産業遺産研究者など30人以上が参加した。

大江渡鹿地区は戦前、花畑地区から移転した歩兵23連隊などの陸軍施設が密集した地域である。1922(大正11)年に第7代熊本市長に就いた高橋守雄(1883~1957)のもと、熊本市電開業、上水道整備とあわせて「熊本市3大事業」と呼ばれる。

歩兵13連隊跡地の熊本学園大学では昭和初期に建てられたコンクリート造りの食堂・酒保所が改装され、今も第2体育館として利用されている。また産業道路(旧軍用道路)に接しては、13連隊

正門跡である煉瓦造りの塀が残っている。白川中学校には野砲兵6連隊の営門・脇門が移転され今も校門として利用されている。しかしながら大江地区で進む再開発事業などに伴い、多くの施設は老朽化のため取り壊され、敷地片隅の記念碑などが軍都の姿を物語るのみである。

熊日連載「伝えたい私の戦争」のブックレットを読み始めた。軍都熊本の戦争を伝える風景としてこれらの遺跡を残す思いを強めた。

稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。

あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係  
②ファクス 096(363)1268  
③Eメール

hiroba@kumanichi.co.jp

投稿される方へ

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投